

5分で読める！
理解する！
あらすじで学ぶ
家づくり

VOL.

43

STAY HOME-2

Stay home!

健康に暮らそう！

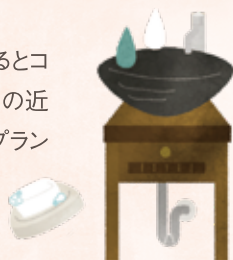
今年は新型コロナウイルス感染症の影響でこれまでとは異なるライフスタイルが推奨されており、基本的には旅行や外出などをせず、STAY HOME(ステイホーム)の定着が図られています。そこで、これから家づくりをお考えの方の多くが、新居はステイホームに対応した住まいをご検討されています。コロナ禍はいずれ終息しますが、新しい暮らし方(New Normal)はそのまま継続していくと思われます。今回はそんな新しい暮らし方として、わが家で健康に暮らすためのアイデアをご紹介します。

玄関で手洗い・うがい

コロナ禍のなか、不要不急の外出はなるべく控える、人が集う場ではソーシャルディスタンスを保つなど、感染を広げないために必要な行動が求められています。新型コロナウイルスの感染が広がってから、「家に帰ったら手洗い・うがい」という生活のパターンが身に付いてきた人も多いでしょう。

そこで、新築時に玄関の横に手洗いコーナーの設置を希望する方が増えてきました。家に帰るとドアを開閉したり、照明をつけるのにスイッチを押したりと、手を洗う前に様々な場所を触りがちです。ドアやスイッチ等は自分だけでなく子どもたちもひんぱんに触る事になります。

ただし、もう一つ洗面を設けるとなるとコストも上がります。例えばトイレを玄関の近くに配置し、兼用の手洗いにする等プランの工夫で解決する事も可能です。



玄関クローゼット

玄関での手洗いと同じような理由で、外からウイルスを室内に持ち込まない工夫として玄関クローゼットの活用があります。設計時に玄関クローゼットを少し広めにし、コートやカバンなどを収納できるようにします。もともとアウターは毎日洗濯するものではありませんし、玄関に掛けておけば、それはそれで便利なものです。

また、子どもたちにも室内に持ち込まず、玄関先で整理整頓するよう教育することもできます。

広い玄関ホールも魅力的ですが、スペースの有効活用を考えれば効果的な空間利用になります。



自宅でおいしい食事

2020年4月の緊急事態宣言により外出自粛となって以降、自宅での食事の頻度は大きく増加しています。

テイクアウトやデリバリーもありますが、基本的には自宅で食事を作る家庭が増えています。料理にかかる時間も増加傾向にあり、「栄養のバランス」、「新鮮な食材」、「健康的な味付け」とヘルシー志向の家庭が多いようです。そこで、以前にも増して「作業がしやすい」、「掃除が簡単」、「効率が良い」キッチンが人気になっています。機能が充実して場所を取らないコンパクト型や、動線が効率的なアイランド型キッチンの採用率が上がっています。

キッチンの種類や配置等はプラン提案の段階で決めておく必要があります。設計士に希望を細かく伝え、目的にあったキッチンを選ぶ事が大切です。



自宅でフィットネス

前回の「家を楽しもう」でも取り上げましたが、「ホームジム」も健康のために有効な設備です。現在でも新型コロナウイルスの影響から、ジムなどでは人数の制限があったり、できるメニューや使える施設が限られていたりします。そのため、身体のトレーニングと心のリラックスには自宅でのフィットネスをおすすめします。

プラン提案としては、寝室の一角にフィットネスコーナーを設けたり、浴室の側にジムスペースを作れば、気軽にフィットネスを楽しむことができます。これならわざわざジムに出掛けなくても、ちょっとした時間で自分磨きをすることが可能になります。



ママとパパとワタシにやさしい展示場。

山陽新聞住宅展示場

山陽新聞岡山住宅展示場の出展メーカーでは、新しい生活様式(New Normal)に対応した住まいをご提案しています。間取り・プランのご提案も可能です。ぜひ、各モデルハウスでご相談ください！